

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『たしかめよう』『〇年の復習』『ほじゅうのもんだい』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『考える力をのばそう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『いかしてみよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『平均値とちらばり』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『小数、分数、整数のまじったかけ算やわり算』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、二酸化炭素のデータをもとに考える学習活動が『算数で読みとこう』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『学びのとびら』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、社会科と関連した学習活動が『野菜の価格が高い!』に設定されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『今日の深い学び』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本で独自に発達した和算が『算数卒業旅行』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、10mや1kmを実際に歩く学習活動が『長いものの長さのはかり方』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『くらべたことがあるかな』や、中学校の学習につながる『中学校体験入学コース』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、四捨五入する手順を考える学習活動が『プログラミングを体験しよう!』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめよう』に設定されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『ものの形に注目すると?』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、数学的な見方・考え方を働かせる学習活動が『つないでいこう算数の目』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、比例の学習で考えたことを反比例でも考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『それなら次は』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、結論を出すなどの学習活動が『データを使って生活を見なおそう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『たしかめよう』、巻末に『ほじゅうのもんだい』が掲載され、13～18章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『視認性をいっそう高めたユニバーサルデザイン教科書体を採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適應するようデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	大日本	書名	たのしい算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『たしかめ問題』『〇年の復習』『プラス・ワン』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学んだことを生かそう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『算数たまたばこ』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『データの特ちょうを表す値とグラフ』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『組み合わせ方』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、SDGsと算数との関連を調べる学習活動が『なるほど算数教室』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『じっくり深く学び合おう!』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、社会科と関連した学習活動が『伊能忠敬の地図作り』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『話し方』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の歴史的建造物で見られる白銀比が『なるほど算数教室』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、1mのテープを使って、分数のものさしを作る学習活動が『分数』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『たのしいさんすうはじまるよ』や、中学校の学習につながる『数学の世界へ』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、アルゴリズムを整理する学習活動が『プログラミングにちょうせん!』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめ問題』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『対称の中心で回転』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学習した内容を振り返り、見直しをもつ学習活動が『ふりかえろう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、分数どうしのわり算の方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『じっくり深く学び合おう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が『表やグラフを生かそう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『たしかめ問題』、巻末に『プラス・ワン』が掲載され、13～20章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全面的なユニバーサルデザインフォントの使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色などの工夫を行い、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	学図	書名	みんなと学ぶ 小学校 算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『できるようになったこと』『〇年のまとめ』『もっと算数』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『まなびをいかそう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『はてなを発見』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『代表値』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『点対称な図形をかく』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、外来生物を題材として割合を用いて考える学習活動が『算数をつかって』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『みんなと学ぼう！算数の学び方』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、家庭科と関連した学習活動が『バランスのよい食事を考えよう』に設定されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『ことば』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、縦横の縮尺をかえた竪穴式住居が『はてなを発見』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、目を閉じて、片足で立ってられる時間を計る学習活動が『時こくと時間』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『どんなあそびをしてきたかな？』や、中学校の学習につながる別冊『中学校へのかけ橋』が設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、重さのちがうものをさがす方法を考える学習活動が『プログラミングのプ』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『できるようになったこと』に設定されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『ぴったり重なる図形』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学習した内容を振り返り、考え方を整理する学習活動が『ふりかえろう！』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、円の面積を求める公式はあるのか考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『はてな』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、結論を出すなどの学習活動が『いろいろな問題を解決しよう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『できるようになったこと』、巻末に『もっと算数』が掲載され、15～22章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、AB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	教出	書名	小学算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『たしかめよう』『〇年のまとめ』『ステップアップ算数』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学んだことを使おう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『算数ワールド』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『いろいろなグラフ』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『代表値と散らばり』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、食品ロスに関する割合のグラフをもとに分析する学習活動が『考えようSDGs』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『みんなで算数をはじめよう!』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、音楽科と関連した学習活動が『メロディーは何種類?』に設定されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『算数が好きになるはじめの一歩』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、江戸時代の塵劫記に書かれていた俵杉算が『歴史のとびら』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、かかる時間や歩数を調べながら、100mや1kmを歩く学習活動が『長さ』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『いろいろなことがさんすうとつながるよ』や、中学校の学習につながる『数学へのとびら』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、車の進み方をカードを使って指示する学習活動が『プログラミングにちょうせん』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『ふり返ろう』に掲載されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『対称な図形の性質』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学んだ問題解決の方法を振り返る学習活動が『よくあるまちがい』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、分数を整数でわる方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『つながるミカタ』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、結論をまとめるなどの学習活動が『データを分析して、代表を決めよう!』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『ふり返ろう』、巻末に『ステップアップ算数』が掲載され、12～18章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、B5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	啓林館	書名	わくわく 算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『たしかめよう』『もうすぐ〇年生』『学びのサポート』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『やってみよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『やってみよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『平均値』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『図形の拡大と縮小』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、家庭の消費エネルギー量について調べる学習活動が『わくわくSDGs』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『算数のとびら』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、家庭科と関連した学習活動が『オーラソースをつくろう』に設定されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『算数で使うことば』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、線対称として平等院鳳凰堂が『どうしてきれいに見えるのかな?』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、長いものや丸いものの長さをまきじゃくを使って測る学習活動が『長さ』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『わくわくすたあと』や、中学校の学習につながる『数学へのとびら』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、忍者が呪文を唱えたときの人数を求める学習活動が『わくわくプログラミング』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめよう』に掲載されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『対称な図形』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、既習内容を活用し、条件等を変えて考える学習活動が『いろいろな条件を考えて』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、全部の場合を調べて条件にあう場合を考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『学びをふかめよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、結論をまとめるなどの学習活動が『データを使って問題を解決しよう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『学びのまとめ』、巻末に『学びのサポート』が掲載され、13～23章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	日文	書名	小学算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『学習をたしかに』〇年の復習』『しっかりチェック』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学習をたしかに』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『使ってみよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『平均とちらばりのようす』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『反比例のグラフの特ちょう』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、海岸のごみの調査結果をグラフに表して調べる学習活動が『算数ジャンプ』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『学び方の4ステップ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、家庭科と関連した学習活動が『「一汁三菜」の献立を考えよう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『次の学習のために』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、江戸時代の庶民の暮らしで使われた和算が『マテマランドを探検しよう!』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、1秒ごとに手をたたく学習活動が『時間の計算と短い時間』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『かずやかたちでたのしく』や、中学校の学習につながる『もうすぐ中学生』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、すごろくのルールを図に表す学習活動が『レッツプログラミング』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『わかっているかな』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『点対称な図形をかこう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学習した数学的な見方・考え方を異なる場面で働かせる学習活動が『学習をたしかに』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、比例を利用して画用紙の枚数を求める方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『自分でみんなで』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、結論を出すなどの学習活動が『データを集めて調べて問題を解決しよう!』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『学習をたしかに』、巻末に『算数マイトライ』が掲載され、14～20章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、B5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《算数(算数)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『たしかめよう』、巻末では『〇年の復習』『ほじゅうのmondai』に設定されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『たしかめ問題』、巻末では『〇年の復習』『プラス・ワン』に設定されている。
学図	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『できるようになったこと』、巻末では『〇年のまとめ』『もっと算数』に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『たしかめよう』、巻末では『〇年のまとめ』『ステップアップ算数』に設定されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『たしかめよう』、巻末では『もうすぐ〇年生』『学びのサポート』に設定されている。
日文	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『学習をたしかに』、巻末では『〇年の復習』『しっかりチェック』に設定されている。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『考える力をのばそう』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『算数マイノートをつくらう』に掲載されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学んだことを生かそう』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『ノートの書き方の例』に掲載されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『まなびをいかそう』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『ノート名人になろう』に掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学んだことを使おう』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『友だちのノートを見てみよう』に掲載されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『やってみよう』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『算数ノートをつくらう』に掲載されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学習をたしかに』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『算数ノートをつくらう』に掲載されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、すべり台の角度での活用を示した『角の大きさ』、第6学年では、ピザの面積での活用を示した『円の面積』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『いかしてみよう』に設定されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、おつりの計算での活用を示した『そろばん』、第6学年では、顕微鏡での活用を示した『拡大図と縮図』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『算数たまてばこ』に設定されている。
学図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、花だんづくりでの活用を示した『面積』、第6学年では、折り紙での活用を示した『対称』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『はてなを発見』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、電卓を使った計算での活用を示した『がい数』、第6学年では、地上絵での活用を示した『拡大図と縮図』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『算数ワールド』に設定されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、リサイクルでの活用を示した『調べ方と整理のしかた』、第6学年では、商品販売での活用を示した『データの整理と活用』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『やってみよう』に設定されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、代金の見積もりでの活用を示した『計算の見積もり』、第6学年では、地図記号での活用を示した『対称な図形』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『使ってみよう』に設定されている。

## 2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『平均値とちらばり』などに掲載されている。
大日本	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『データの特ちょうを表す値とグラフ』などに掲載されている。
学図	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『代表値』などに掲載されている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『いろいろなグラフ』などに掲載されている。
啓林館	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『平均値』などに掲載されている。
日文	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『平均値とちらばりのようす』などに掲載されている。



⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『通分』、第6学年では『小数、分数、整数のまじったかけ算やわり算』などに設定されている。
大日本	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『割引前のねだんの求め方』、第6学年では『組み合わせ方』などに設定されている。
学図	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『平行四辺形の高さ』、第6学年では『点対称な図形をかく』などに設定されている。
教出	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『百分率を使って』、第6学年では『代表値と散らばり』などに設定されている。
啓林館	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『部屋のみぐあいのくらべ方』、第6学年では『図形の拡大と縮小』などに設定されている。
日文	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『平均の求め方』、第6学年では『反比例のグラフの特ちょう』などに設定されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、人工林が吸う二酸化炭素の量などのデータをもとに議論し、排出量を減らすために自分でできそうなことを考える学習活動が『算数で読みたい』に設定されている。
大日本	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、SDGsのロゴをデザインしたデザイナーへのインタビューを通して、SDGsと算数との関連を調べる学習活動が『ふくろう先生のなるほど算数教室』に設定されている。
学図	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、外来生物を題材として、割合を用いて話し合い、対策を調べて何ができるかを考える学習活動が『算数をつかって』に設定されている。
教出	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、食品ロスの削減や地球にやさしい再生可能エネルギーに関して、割合のグラフをもとに分析する学習活動が『考えようSDGs』に設定されている。
啓林館	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、エネルギーに関して折れ線グラフを活用して家庭の消費エネルギー量の変わり方について調べる学習活動が『わくわくSDGs』に設定されている。
日文	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、海岸のごみについての調査結果を題材に、人工ごみの割合の変化についてグラフに表して調べる学習活動が『算数ジャンプ』に設定されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『問題をつかもう』『自分の考えをかき表そう』『友だちと学ぼう』『ふり返ってまとめよう』として『学びのとびら』に設定されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『問題をつかもう』『自分で考えよう』『学び合おう』『まとめて使ってみよう』『ふりかえろう』として『じっくり深く学び合おう!』に設定されている。
学図	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『学びのはじめ』『今日の学び』『学びのまとめとふりかえり』として『みんなと学ぼう!算数の学び方』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『問題をつかむ 自分の考えをもつ』『話し合って深める』『ふり返ってまとめる 比べてつなげる』『広げて考える』として『みんなで算数をはじめよう!』に設定されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『どんな問題かな』『自分で考えよう』『みんなで話しあおう』『たしかめようふりかえろう』として『算数のとびら』に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『どんな問題かな』『考えよう』『学び合おう』『ふり返ろう』として『学び方の4ステップ』に設定されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)

東書	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、理科と関連した学習活動が『地球温暖化について考えよう』に設定されている。第6学年では、社会科と関連した学習活動が『野菜の価格が高い!』に設定されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、理科と関連した学習活動が『実験教室の準備』に設定されている。第6学年では、社会科と関連した学習活動が『伊能忠敬の地図作り』に設定されている。
学図	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、理科と関連した学習活動が『タイヤの材料について考えよう』に設定されている。第6学年では、家庭科と関連した学習活動が『バランスのよい食事を考えよう』に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、社会科と関連した学習活動が『グラフで「いちばん」を伝えよう!』に設定されている。第6学年では、音楽科と関連した学習活動が『メロディーは何種類?』に設定されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、社会科と関連した学習活動が『割合をグラフに表そう』に設定されている。第6学年では、家庭科と関連した学習活動が『オーロラソースをつくろう』に設定されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、社会科と関連した学習活動が『米の生産地と品種』に設定されている。第6学年では、家庭科と関連した学習活動が『「一汁三菜」の献立を考えよう』に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『今日の深い学び』に設定されている。
大日本	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『話し方』に設定されている。
学図	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『ことば』に設定されている。
教出	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『算数が好きになるはじめの一歩』に設定されている。
啓林館	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『算数で使うことば』に設定されている。
日文	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『次の学習のために』に設定されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、円周率をくわしく求めることに、日本の関孝和が挑戦していたことが『ますりん通信』に掲載されている。第6学年では、日本で独自に発達した和算が『算数卒業旅行』に掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、日本の関孝和や吉田光由が円周率の計算に挑戦したことが『なるほど算数教室』に掲載されている。第6学年では、日本の歴史的建造物で見られる白銀比が『ふくろう先生のなるほど算数教室』に掲載されている。
学図	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、円周率がある値よりも小さいことを日本の関孝和が求めたことが『なるほど算数』に掲載されている。第6学年では、縦横の縮尺をかえた堅穴式住居が『はてなを発見』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、300年前の日本で円周率を正確に求めることに挑戦した関孝和が『広がる算数』に掲載されている。第6学年では、江戸時代の塵劫記に書かれていた俵杉算が『歴史のとびら』に掲載されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、鹿苑寺の金閣にはられている金箔が『どんな計算になるのかな』に掲載されている。また、第6学年では、線対称として平等院鳳凰堂が『どうしてきれいに見えるのかな?』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、日本の村松茂清や関孝和が円周率の正確な計算に挑戦した記録が『なるほど算数』に掲載されている。また、第6学年では、江戸時代の庶民の暮らしで使われた和算が『マテマランドを探検しよう!』に掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第3学年では、10mや1kmを実際に歩く学習活動が『長いものの長さのはかり方』に設定されている。第6学年では、直接測ることのできない長さを縮図を活用して求める学習活動が『拡大図と縮図』に設定されている。
大日本	体験活動の充実について、第3学年では、1mのテープを使って、分数のものさしを作る学習活動が『分数』に設定されている。第6学年では、紙の枚数を求めることで、比例を日常に生かす学習活動が『比例と反比例』に設定されている。
学図	体験活動の充実について、第3学年では、目を閉じて片足で立っていられる時間を計る学習活動が『時こくと時間』に設定されている。第6学年では、ひもを使って円の面積を確かめる学習活動が『円の面積』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第3学年では、かかる時間や歩数を調べながら、100mや1kmを歩く学習活動が『長さ』に設定されている。第6学年では、縮図を使って木の高さを求める学習活動が『拡大図と縮図』に設定されている。
啓林館	体験活動の充実について、第3学年では、長いものや丸いものの長さをまきじゃくを使って測る学習活動が『長さ』に設定されている。第6学年では、折り重ねた色紙を切って模様をつくる学習活動が『対称な図形』に設定されている。
日文	体験活動の充実について、第3学年では、1秒ごとに手をたたく学習活動が『時間の計算と短い時間』に設定されている。第6学年では、いろいろな道のりを調べるために自分の歩幅を使う学習活動が『データの調べ方』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『くらべたことがあるかな』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる『中学校体験入学コース』が掲載されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『たのしいさんすうはじまるよ』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる『数学の世界へ』が掲載されている。
学図	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『どんなあそびをしてきたかな?』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる別冊『中学校へのかけ橋』が掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『いろいろなことがさんすうとつながるよ』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる『数学へのとびら』が掲載されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『わくわくすたあと』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる『数学へのとびら』が掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『かずやかたちでたのしく』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる『もうすぐ中学生』が掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、第4学年では、四捨五入する手順を考える学習活動、第5学年では、正多角形を作図するプログラムを考える学習活動が『プログラミングを体験しよう!』に設定されている。
大日本	情報活用能力の育成について、第4学年では、アルゴリズムを整理する学習活動、第5学年では、正多角形を作図するプログラムを考える学習活動が『プログラミングにちょうせん!』に設定されている。
学図	情報活用能力の育成について、第4学年では、重さのちがうものをさがす方法を考える学習活動、第5学年では、正多角形を作図するプログラムを考える学習活動が『プログラミングのプ』に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、第4学年では、車の進み方をカードを使って指示する学習活動、第5学年では、正三角形や正六角形を作図するプログラムを考える学習活動が『プログラミングにちょうせん』に設定されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、第4学年では、忍者が呪文を唱えたときの人数を求める学習活動、第5学年では、正多角形を作図するプログラムを考える学習活動が『わくわくプログラミング』に設定されている。
日文	情報活用能力の育成について、第4学年では、すごろくのルールを図に表す学習活動、第5学年では、今日のラッキーカラーを決めるプログラムを考える学習活動が『レッツプログラミング』に設定されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『前の学習』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめよう』に設定されている。
大日本	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『前の学習』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめ問題』に設定されている。
学図	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『もくじ』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『できるようになったこと』に設定されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『もくじ』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『ふり返ろう』に設定されている。
啓林館	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『これまでに学んだこと』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめよう』に設定されている。
日文	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『これまでの学習』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『わかっているかな』に設定されている。

⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『ひっ算のしかた』など、第6学年では『ものの形に注目すると?』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
大日本	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『2けたのたし算』など、第6学年では『対称の中心で回転』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学図	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『たし算のひっ算』など、第6学年では『ぴったり重なる図形』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『長さのはかり方』など、第6学年では『対称な図形の性質』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
啓林館	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『たし算』など、第6学年では『対称な図形』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『筆算のしかた』など、第6学年では『点対称な図形をかこう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、既習内容を整理し、数学的な見方・考え方を働かせる学習活動が『つないでいこう算数の目』に設定されている。
大日本	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学習した内容を振り返り、これからの学習の見通しをもつ学習活動が『ふりかえろう』に設定されている。
学図	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、単元を通して学習した内容を振り返り、考え方を整理する学習活動が『ふりかえろう!』に設定されている。
教出	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、単元を通して学んだ問題解決の方法を振り返る学習活動が『よくあるまちがい』に設定されている。
啓林館	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、既習内容を身の回りで活用し、条件等を変えて考える学習活動が『いろいろな条件を考えて』に設定されている。
日文	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学習した数学的な見方・考え方を異なる場面で働かせる学習活動が『学習をたしかに』に設定されている。

⑩ 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考え、表現し、さらに伝え合うような題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、台形の面積の求め方を考える、第6学年では、比例の学習で考えたことを反比例でも考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『それなら次は』に設定されている。
大日本	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、四角形の内角の和を考える、第6学年では、分数どうしのわり算の方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『じっくり深く学び合おう』に設定されている。
学図	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、ひし形の面積を求める方法を考える、第6学年では、円の面積を求める公式があるか考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『はてな』に設定されている。
教出	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、分母の異なる分数をたしたりひいたりできるか考える、第6学年では、分数を整数でわる方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『つながるミカタ』に設定されている。
啓林館	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、3割引きはもとの値段の何倍かを考える、第6学年では、全部の場合を調べて条件にあう場合を考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『学びをふかめよう』に設定されている。
日文	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、四角形の内角の和の求め方を考える、第6学年では、比例を利用して画用紙の枚数を求める方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『自分でみんなで』に設定されている。
⑪ 目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現する題材や、統計データの特徴を読み取り判断する題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『問題を設定する』『計画を立てる』『データを集めて整理する』『分せきする』『結論を出す』という過程に沿って、自分の家庭学習時間の長さについて考える学習活動が『データを使って生活を見なおそう』に設定されている。
大日本	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『調べることを決めよう』『計画を立てよう』『データを集めよう』『分せきしよう』『わかったことをまとめよう』という過程に沿って、クラスの人が本をどのくらい借りているか考える学習活動が『表やグラフを生かそう』に設定されている。
学図	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『問題を見つける』『計画を立てる』『データを集める』『分析をする』『結論を出す』という過程に沿って、地球は温暖化しているかどうかを考える学習活動が『いろいろな問題を解決しよう』に設定されている。
教出	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『テーマを見つける』『計画を立てる』『データを集めて整理する』『分せきをする』『結論をまとめる』という過程に沿って、8の字とびの学年代表を決める方法について考える学習活動が『データを分析して、代表を決めよう！』に設定されている。
啓林館	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『問題を設定する』『調べ方を計画する』『データを集める』『データを分せきする』『結論をまとめる』という過程に沿って、大縄とびのクラスの代表チームを決める方法について考える学習活動が『データを使って問題を解決しよう』に設定されている。
日文	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『問題を見つけよう！』『調べ方を計画しよう！』『データを集めよう！』『データをくわしく分析しよう！』『結論を考えよう！』という過程に沿って、図書館を利用する人を増やす方法について考える学習活動が『データを集めて調べて問題を解決しよう！』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	補充や発展問題として、単元末に『たしかめよう』、巻末に『ほじゅうのもんだい』が掲載され、第1学年は18章、第2学年は17章、第3学年は18章、第4学年は14章、第5学年は18章、第6学年は13章で構成されている。
大日本	補充や発展問題として、単元末に『たしかめ問題』、巻末に『プラス・ワン』が掲載され、第1学年は20章、第2学年は17章、第3学年は18章、第4学年は15章、第5学年は18章、第6学年は13章で構成されている。
学図	補充や発展問題として、単元末に『できるようになったこと』、巻末に『もっと算数』が掲載され、第1学年は19章、第2学年は22章、第3学年は20章、第4学年は21章、第5学年は21章、第6学年は15章で構成されている。
教出	補充や発展問題として、単元末に『ふり返ろう』、巻末に『ステップアップ算数』が掲載され、第1学年は18章、第2学年は17章、第3学年は18章、第4学年は17章、第5学年は16章、第6学年は12章で構成されている。
啓林館	補充や発展問題として、単元末に『学びのまとめ』、巻末に『学びのサポート』が掲載され、第1学年は23章、第2学年は17章、第3学年は20章、第4学年は16章、第5学年は18章、第6学年は13章で構成されている。
日文	補充や発展問題として、単元末に『学習をたしかに』、巻末に『算数マイトライ』が掲載され、第1学年は20章、第2学年は17章、第3学年は18章、第4学年は17章、第5学年は17章、第6学年は14章で構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。
大日本	判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。
学図	判型は、A4判が採用されている。
教出	判型は、B5判が採用されている。
啓林館	判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。
日文	判型は、B5判が採用されている。



⑦文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『視認性をいっそう高めたユニバーサルデザイン教科書体を採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようデザインしていません。』と表記されている。
大日本	『全面的なユニバーサルデザインフォントの使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色などの工夫を行い、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。』と表記されている。
学図	『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

## 【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	第2学年上 110ページ 道路標識（相模原市） 第3学年上 62ページ 品濃一里塚（横浜市） 第5学年下 115ページ 新横浜プリンスホテル（横浜市）
大日本	第3学年 175ページ スクールゾーン電柱（横浜市） 第5学年 148ページ 神奈川県的人口と面積、242ページ 『神奈川県駅建設予定地周辺』（相模原市）、 246ページ 『横浜ランドマークタワー』（横浜市）、249ページ 『横浜市のビル』（横浜市） 第6学年 173ページ 住宅（平塚市）、209ページ 『横浜スタジアム』（横浜市）、270ページ 面積（鎌倉市）
学図	第4学年上 15ページ 横浜港（横浜市）、下 9ページ ブーラシア（横浜市） 第6学年 23ページ 『⑩神奈川県』、216ページ 『ぎょうざに使う金額』（横浜市、川崎市、相模原市）
教出	第2学年下 裏表紙 『ひなまつり』（南足柄市）、『寄木細工』（箱根町） 第3学年上 表紙 『観覧車』（相模原市）、111ページ 『サッカー場』（川崎市）、 裏表紙 『くりはま花の国』（横須賀市）、『大山こま』（伊勢原市）、 下 54ページ びわ青少年の家（平塚市）、 77ページ 紅谷町標識（平塚市）、気温（横浜市） 第4学年上 11ページ 神奈川県の数、12ページ 『日本の人口ランキングベスト5』 第5学年 148ページ 神奈川県的人口と面積 第6学年 187、188ページ 横浜市の縮図（横浜市）、189ページ 新横浜プリンスホテル（横浜市）、 202ページ サッカー（川崎市）、 267ページ 『二ヶ領用水久地田筒分水』（川崎市）
啓林館	第2学年上 33ページ 『大かんらんしゃ』（横浜市） 第4学年上 73ページ 『大山ケーブルカー』（伊勢原市）、下 15ページ 『よこはま動物園ブーラシア』（横浜市）
日文	第5学年 136ページ 神奈川県的人口と面積、写真（横浜市）、 254、255ページ 『海岸ごみの内訳 過去と直近の比較』（かながわ美化財団） 第6学年 24ページ 『神奈川県』

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量（g）													
	冊数	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
		1年上	1年下	2年上	2年下	3年上	3年下	4年上	4年下	5年上	5年下	6年上	6年下
東書	11	140	227	229	209	259	223	259	259	250	241	428	
大日本	7	126	243	430		456		490		482		445	
学図	12	229	240	335	299	308	364	330	365	358	383	516	110
教出	9	306		258	223	263	246	295	287	501		462	
啓林館	10	160	243	239	246	259	225	271	225	452		437	
日文	10	96	254	288	239	298	253	290	288	538		483	

※東書の「1①」を「1年上」、「1②」を「1年下」として表記しています。  
 ※大日本の「1ねん①」を「1年上」、「1ねん②」を「1年下」として表記しています。  
 ※学図の「6年」を「6年上」、「6年 中学校へのかけ橋」を「6年下」として表記しています。  
 ※啓林館の「すたあと ぶっく」を「1年上」、「さんすう1」を「1年下」として表記しています。  
 ※日文の「1①」を「1年上」、「1②」を「1年下」として表記しています。